

奈良県立医科大学では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、患者さんの情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、患者さんの情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、研究機関の長の許可を得て行います。

① 研究課題名	介護療養病床のスキン - テアの発生の実態と要因の関連		
② 研究期間	実施許可日から 2024年12月31日		
③ 対象患者	対象期間中に中本病院の療養病床に入院している患者さん		
④ 対象期間	実施許可日から 2024年8月31日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学		
⑥ 研究責任者	氏名	松田常美	所属 奈良県立医科大学医学部看護学科
⑦ 使用する試料・情報等	<p>【患者さんの特性】 年齢、性別、日常生活自立度、麻痺、関節拘縮、疾患名、既往歴、ステロイドの内服・外用の有無、透析の有無、抗凝固剤の有無、入院期間、栄養状態（Tp, Alb, Hb）スキン - テアの有無（観察時・入院時）</p> <p>【スキン - テアの発生状況】 発生場所と状況、発見者、発生時の対応</p> <p>【スキン - テアの発生部位の特徴】 部位、紫斑、皮膚の乾燥、水泡、血腫、浸出液の量、感染の有無、スキン - テアの既往、発生周囲皮膚の状況</p> <p>【スキン - テアの発生部位の管理状況】 処置方法</p>		
⑧ 研究の概要	高齢者の皮膚は弱くなっているため、少しの刺激でも皮膚に傷ができてしまいます。傷ができるとその傷はとても強い痛みを伴い、入院生活に苦痛を生じます。この傷は、入院中に患者さんのお世話をするときに発生しやすいということがわかってきました。そこで、具体的にどのような時に皮膚に傷ができるのかをカルテから情報を得て、高齢者の弱くなった皮膚に傷ができないような方法を考えるために今回の研究を行います。		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024年 4月 10日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。ご希望され		

	る場合は、「⑬ 問合わせ先・相談窓口」にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。 研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学医学部看護学科 成人急性期看護学科 准教授 松田 常美		
	電話	0744-22-3051 (内線 : 2762)	FAX 0744-29-7555
	Mail	tmatsuda@narmed-u.ac.jp	